

「2021 年度 事業計画に基づく名古屋エリアの取り組み」

2022 年 1 月 管理者勉強会

取り組み（1）「施設満足度向上の取り組み」

取り組み事業所名： 介護老人福祉施設 ジョイフル名駅

具体的な取り組み方法・進捗状況：

介護職員による定期的な電話連絡にて利用者様の状況をお伝えする。

施設発行の新聞を送付し、写真にて利用者様の様子をお伝えする。

確認できた効果、期待される効果：

2021 年度上半期満足度調査にて、施設満足度の向上が確認できた。

ご家族との連携、信頼関係の構築に効果的である。

効果の確認：

満足度調査の「回収率」、「施設評価」、「意見の言いやすさ」について、良い評価が上昇傾向である。

取り組み（2）「ADL・ニーズの変化を見逃さない為の取り組み」

具体的な取り組み方法・進捗状況：

利用再開した 18 名対象に体力測定を実施すると、ADL が低下傾向だった。

①計画書に沿った運動プログラムに誘導・実施。②自宅でも出来る安全で簡単な運動を紹介。③月次報告書などでケアマネに情報共有。

確認できた効果、期待される効果：

3 ヶ月継続してデイサービスを利用した 16 名を対象に、再度体力測定を実施。握力・5M 歩行・開眼片足立ち右足支持が向上していた。体調の変化についても聞き取りを実施すると、16 名中 15 名の方が 3 ヶ月前よりも「体調が良くなっている。」と感じていた。「体調が悪くなった。」という方は、1 名もいなかった。

取り組み（3）「 事故予防の取り組み 」

取り組み事業所名： アクティブセンター ジョイフル砂田橋

具体的な取り組み方法・進捗状況：

ヒヤリハット件数を上げて情報共有、対策を立てて事故を防止する。

フロアで見守り位置・範囲を視覚化、乗車・降車時の職員配置の明確化、業務工程の標準化を図る。

確認できた効果、期待される効果：

危険個所の共有と図面に落とし込んでさらに視覚化を進めた。

どの職員でも同じ動きができるようになる。

効果の確認：

事故件数が前年比で月 2.66 件が 1.7 件に減少した。